

## 医薬品タイムリー情報

(第12号)

## 血漿分画製剤(血液凝固阻止剤)変更

採用取消

ノイアート静注用1500単位



同一成分薬

新規採用

献血ノンスロン1500注射用

【貯法】

30℃以下に凍結を避けて保存すること(薬局では冷蔵庫に保存)

【規制区分】

特定生物由来製品

【組成】

人アンチトロンビンIII:1,500国際単位

【効能又は効果】

1.先天性アンチトロンビンIII欠乏に基づく血栓形成傾向

【用法及び用量】

1日1,000~3,000国際単位(又は20~60国際単位/kg)を投与

2.アンチトロンビンIII低下を伴う汎発性血管内凝固症候群(DIC)

成人に対し、ヘパリンの持続点滴静注のもとに、本剤1日1,500  
国際単位(又は30国際単位/kg)を投与

3.アンチトロンビンIII低下を伴う門脈血栓症

成人に対し、本剤1日1,500国際単位(又は30国際単位/kg)を  
5日間投与

【備考】

エアークラフ、溶解方法は払い出し時に添付します



血漿分画製剤(血液凝固阻上剤)、生物学的製剤基準(乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ)

医療機関向け

特定生物由来製品  
処方箋医薬品

# 献血トランスロン® 1500注射用の溶解方法

**製品瓶内は陰圧になっています。**

1 製品瓶、溶解液瓶のプラスチックキャップをはずし、ゴム栓表面を消毒してください。

3 移注針の保護キャップをはずし、溶解液瓶を移注針ごと逆さにし、製品瓶のゴム栓にまつすぐ垂直に深く刺し込むと溶解液が製品瓶内に移行します。

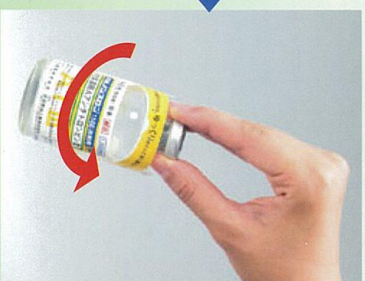
2 溶解移注針(以下移注針)の保護キャップのついてる側を上にし、針を溶解液瓶のゴム栓にまつすぐ垂直に深く刺し込んでください。



**必ず溶解液瓶に先に刺し込んでください。**  
製品瓶に先に刺し込むと陰圧が破壊され、溶解液がうまく移行しなくなります。



5 製品瓶を泡だてないようにゆるやかに揺り動かして、完全に溶解してください。



4 溶解液の移行が終了したら、移注針を持って溶解液瓶と一緒に引き抜いてください。



**移注針はダイスボーサーブルですので、再使用しないでください。**

(針先でワカをしないよう注意してください)

「効能・効果」「用法・用量」「使用上の注意」等については、添付文書をご参照ください。



日本製薬株式会社 (2015年12月作成)

NON15-3-2 (HM)7GSK